

設計内容説明書 (耐震性)

RC造等用

建築物の名称:

- ・鉄筋コンクリート造等の住宅において、フラット35Sを利用する場合に記入してください。
- ・耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) 2又は3の基準に適合する場合には、 に記入してください。
- ・免震建築物の基準に適合する場合には、 に記入してください。

耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) 2又は3の基準に適合する場合

確認項目	設計内容説明欄				設計内容 確認	
	項目	設計内容		評価方法基準		記載図書
目標等級	目標等級	等級2 適用倍率1.25倍) 等級3 適用倍率1.5倍)		1-1(2)D	構造計算書 構造図	適 不適
構造概要	構造概要	構造種別 (造)		1-1(3) 10A-C		
		骨組形式				
X方向 ()						
Y方向 ()						
構造計算	計算条件	計算ルート				
		X方向 () Y方向 ()				
構造躯体	材料の仕様	限界耐力計算 保有水平耐力計算 (ルート3) 保有水平耐力 () × 必要保有水平耐力 C ₀ (二次設計) () 許容応力度等計算 (ルート2) 令第82条第1号から第3号まで第82条の4の計算 (ルート1) その他 ()				
		コンクリートの種類 () 設計基準強度 (N/mm ²) 鉄筋種類 SD295A SD345 SD390 高強度せん断補強筋 鉄骨種類 SN材 SM材 SS材				

免震建築物の場合

構造躯体	免震建築物	平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定される免震建築物 ・同告示第2の該当する号 一号 (四号建築物) 二号 (建築基準法20条第二号及び第三号に掲げる建築物) 三号 (時刻暦応答解析を行い大臣認定取得) ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画 有 無 敷地の管理に関する計画 有 無 その他 ()	1-1(3)F	構造計算書 構造図 計画書 配置図	適 不適
------	-------	---	---------	----------------------------	---------

注1) フラット35Sにおける耐震性に関する基準は次のいずれかになります。

	フラット35S (優良な住宅基準)	フラット35S (特に優良な住宅基準)
耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)	等級2又は等級3	等級3
耐震等級 (免震建築物)	免震建築物であること、免震層・免震材料の維持管理に関する計画が定められていること、及び敷地の管理に関する計画が定められていること	-

注2) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で変更することができます。

注3) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。